

「ロジーナ」シリーズのラインアップ (全 12 色 19 品種)

< 中生系「ロジーナ 型」 >

品 種	品種特性
ブルー	ボリュームの出やすい作型に適する。「青いバラ」のイメージで人気。
ブルー (Ver. 2)	従来品種に比べ草丈がとれ、ボリュームが出やすく、ブラインドしにくくなっている。
ピンク	開花がやや遅く、草丈がとりやすく作りやすい。
ローズピンク	シリーズ中、開花は早めで、花はやや小さい。
グリーン	適度な枝ふきで手入れも少なくすみ、作りやすい。花はやや大きい。
グリーン ver. 2	茎の硬さ、花弁数の多さに優れる。草丈が伸びやすく作りやすい。
イエロー	濃い黄色で花弁が厚く、咲き始めの蕾がたいへん美しい。草丈は、やや出にくい。
イエロー (Ver. 2)	従来品種に比べさらにバラ咲きへと近づけた。花はやや小さめだが、花弁の巻きが多くかわいらしい。
ピンクピコティー	シリーズ中、開花は遅めでボリュームがとりやすい。白に薄桃色の覆輪でほかの花とも合わせやすく、市場人気が高い。
アプリコット	淡いやわらかなアンズ色の中間色でアレンジメントなどに使いやすい人気色。
ラベンダー	人気のブルー系の中間色。赤みが少なくノープルでアンティークなイメージのラベンダーカラー。
ライム	夏場でも発色のよいさわやかなライム (黄緑) カラー。
スノー	夏場の花もちが悪いバラの弱点をカバーする性質をもつ待望の純白色。
ピンクフラッシュ	白色地に桃色のかすりが入る。
ピンクフラッシュ (Ver. 2)	白色地に桃色の淡いかすりが入る。花弁の重ねもよい。秋出荷の作型に好適。
ブルーフラッシュ	白色地に青紫色のかすりが入る人気の「ブルー系」の新色。秋出荷の作型に好適。

表中の「ver. 2」「(Ver. 2)」の表記は当社カタログのとおり

< 晩生系「ロジーナ 型」 >

品 種	品種特性
ブルー	「青いバラ」のイメージで人気。
ピンク	秋口にピンクの色合いが淡くなり魅力を増す。
ホワイト	落ち着いた「オフホワイト」は、ブライダルなど冠婚葬祭の定番色。

「ロジーナ」は当社の登録商標です。

種子価格(税込み希望小売価格)

種 子：ペレット種子 1 袋 3,000 粒入り 9,450 円 (2008 年 12 月 17 日から発売開始)

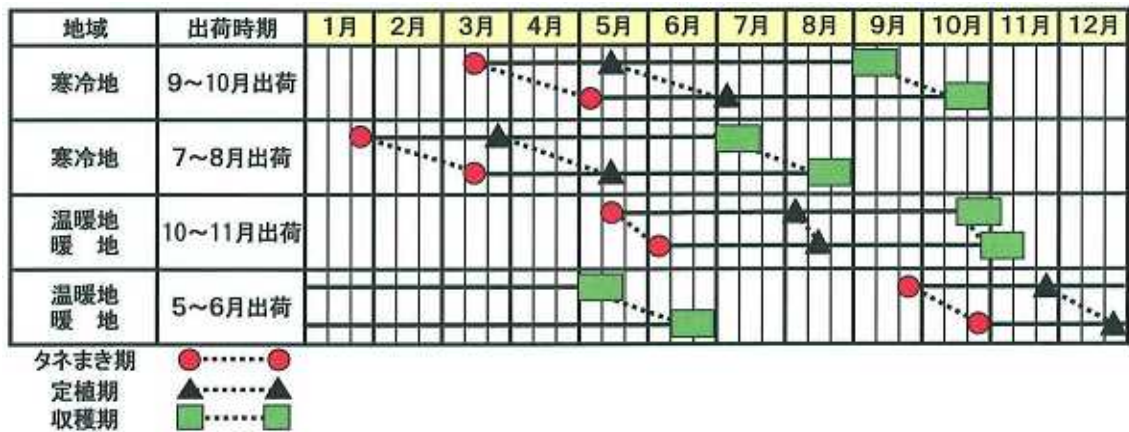
営利以外の一般向け絵袋の発売は未定

セル成型苗：406 穴セルトレー 8,505 円 (2009 年 5 月から発売開始予定)

生花出荷開始

2009 年 7 月から順次主要生花市場へ出荷開始

「ロジーナ ブルーフラッシュ」「同 ピンクフラッシュ (Ver. 2)」の作型



ご参考：トルコギキョウについて

トルコギキョウ (*Eustoma grandiflorum*) は、北アメリカ原産で、原種は、草丈が約 90cm で、花は、一重で、花色もブルーに限られていました。戦前、主にヨーロッパで改良され、同時期、日本へも導入されました。戦争をはさみ海外では多くの品種が絶え、日本に残った品種から現在までに花色や八重咲きなど花形の充実がなされ、茎を強健にする、あるいは生態型などでの育種が進められてきました。

当社においても 1975(昭和 50)年には 1 品種しかなかったものが、現在では約 100 品種を有するまでになっており、パンジー、ペチュニアなどと並ぶ当社の代表品目のひとつとなっています。日本のトルコギキョウ品種が牽引役になり、現在では世界のトルコギキョウ市場の約 7 割 を日本の品種が占めるようになっていきます。多くの切り花品目で、作付面積、出荷量が、減少傾向にあるなかで、トルコギキョウは、前年度比同等の生産状況を示しており、農林水産省のデータによると 2007 年度における年間出荷量は、1 億 1,770 万本となっています。また、トルコギキョウは、冠婚葬祭、ホームユースなど、すべての切り花ジャンルで周年を通し利用されています。

当社データに基づく推定値